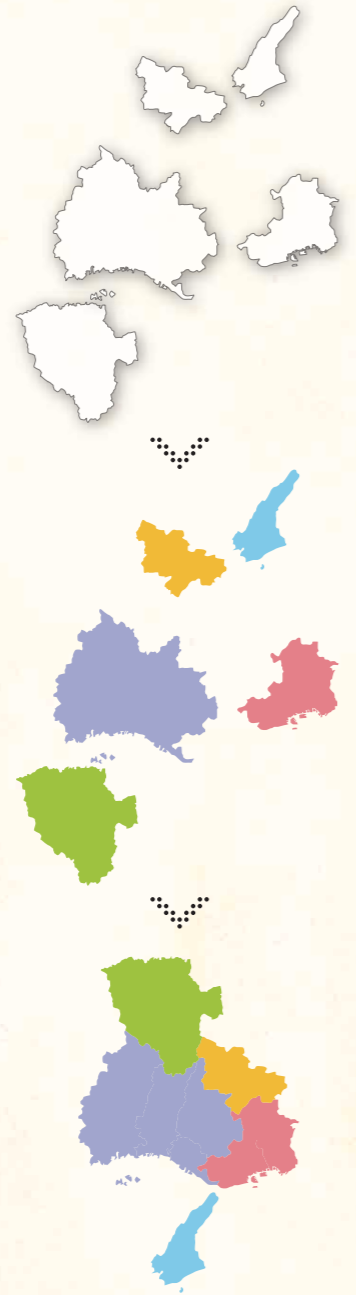


五国で歩んだ百五十年
五国がひとつになって描き続けた『夢』はこれからも——。



表紙の答えは「兵庫県」

兵庫県

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
Tel 078-362-4217 FAX 078-362-3950

兵庫の

赤とんぼ
とまつてゐるよ
竿の先

国生み神話

その唄には里人の物語がある

一円電車

地球の記憶
城

弥生人の
ミステリー

鉱石の道

デカンショ節

新たな都

見果てぬ夢のなごり

棚田

兵庫津

イザナギノミコト
イザナミノミコト

一六〇万年前の

平家
落ち武者
伝説
丹波焼

俺は海運王になる
五斗長垣内遺跡
黒田官兵衛
オノコロ島

遺産



…これはなんのカタチでしょうか?

多様な文化を持つ兵庫県誕生

慶応4年(明治元年)。兵庫県は旧幕府領を治めるための県庁を兵庫津(現・神戸市)に置いたことから始まりました。

明治9年にはほぼ現在と同じ県域(摂津、播磨、但馬、丹波、淡路)が確定しました。多様な風土が共存する県内には、特色ある地域遺産があります。



兵庫県の日本遺産

Nihon isan
日本遺産
志

唄は物語になった デカンショ節

丹波篠山にはこの地方独特の唄「デカンショ節」があります。

デカンショ節は江戸時代から続き、時代ごとの風土や人情を歌詞に表してきました。積み重ねられた唄は200とも300とも言われています。一節一節にこの地に生きた人々の想いが込められています。デカンショ節は丹波篠山の歴史を語り継ぐ物語でもあるのです。



Nihon isan
日本遺産
式

丹波焼

日本生まれ
日本育ちの
やきもの産地

日本六古窯の一つに数えられる丹波焼。その起こりは古く平安時代末から鎌倉時代初頭と伝えられています。近年、蛇窯と呼ぶ長さ47mの大窯が修復され、炎と格闘する姿は、丹波焼を世に広めた名人たちの姿を彷彿させます。今も多くの陶工が技を磨き、丹波焼独特の風合いを守り続けています。



播磨から但馬へ 73kmに及ぶ産業隆盛の記憶 銀の馬車道 鉱石の道

姫路・飾磨港から生野を経て明延へ。わが国屈指の鉱脈地帯を貫く全長73kmの距離を、多くの人と資源が行き交いました。近代化を目指す日本を牽引した国内初の産業道路と言われています。時が流れ役割を終えた轍の名残からは、工業立国を目指して懸命に働いた、往時の人々の息吹が伝わります。



生野鉱山
(生野銀山[朝来市])

Nihon isan
日本遺産
四

島に眠る日本誕生の秘話 国生みの島淡路

わが国最古の歴史書『古事記』、その冒頭に描かれるイザナギノミコト・イザナミノミコトの二柱の神様による国生みの場面。伝承では二神が天沼矛で下界をかき混ぜ落ちた雫が固まってオノコロ島となりました。そこで二神は夫婦となり完全な形で生まれた最初の島が淡路島です。島内には二神の信仰が根付いています。



伊弉諾神宮[淡路市]
写真:伊弉諾神宮提供



QUIZ クイズ

淡路島南部の鳴門海峡で見られる渦潮。一年の中で、大きな渦が最も発生しやすい時期はいつでしょう?

- ① 春と秋
- ② 元日
- ③ 梅雨

クイズの答えは9ページで



すべては この海からはじまった

兵庫津は物語がはじまる港です。
平清盛はここを日宋貿易の拠点とし
新たな都の夢を描きました。

後に海運王と呼ばれる高田屋嘉兵衛の活躍も、
はじまりは兵庫津です。

淡路島から兵庫津へ奉公にやってきた
嘉兵衛は、ここで商売や航海術を学び、
実力をつけました。多くの船が行き交った
兵庫津、日本の近代化、
そして五国が力を合わせる兵庫県も
ここが出发点でした。



兵庫津・清盛塚[神戸市]
写真:©一般財団法人神戸観光局



新川運河[神戸市]
写真:©一般財団法人神戸観光局

宿場町として栄華を極めた港・室津

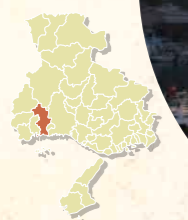
播磨国風土記に「風を防ぐこと室のごとし(室内のようである)」と讃えられた港、それが室津です。

室津の名もこの言葉に由来します。かつては海の参勤交代の拠点として栄えた室津。港のそこかしこには往時を思い起こさせる本陣跡も残ります。



宿札

北前船も入港したことから多くの豪商も育ち、賑やかな町の様相は「室津千軒」と言われました。多くの人が訪れた室津には様々な物語も生まれました。



室津漁港[たつの市]

但馬国一宮出石神社に 祀られるアメノヒボコノミコト



出石神社[豊岡市]

円山川が注ぐ豊岡一帯は、その昔大雨が降る度に大きな被害が出る水難の地でした。新羅の国の王子アメノヒボコノミコトは、氾濫する水に悩まされる民を思い、川の流れをせき止めていた大岩を剣で一刀両断します。すると多くの水は但馬の海へと流れ、泥におおわれた大地は肥沃な土地に生まれ変わりました。
アメノヒボコノミコトは但馬の国づくりの神として豊岡の出石神社に祀られています。

新地域遺産発見!

香美町余部の御崎地区は平家落ち武者伝説が残る集落です。壇ノ浦の戦いに敗れた門脇宰相・平教盛は、命からがら日本海を渡り御崎に辿り着いたとされます。人が立ち入るのを拒むかのような小さな集落には、教盛を祀る社と墓標があります。



平内神社[香美町]



函館市図書館提供

QUIZ クイズ

江戸時代に、兵庫津で優秀な船乗りとしても活躍し、北海道(当時は蝦夷)と上方を結ぶ北前船交易で大成功した豪商・高田屋嘉兵衛。その嘉兵衛が建造したといわれる、当時国内最大級の北前船の名前はなんでしょう?

- 1 嘉兵衛丸
- 2 辰悦丸
- 3 浪華丸

クイズの答えは9ページで



高田屋顕章館蔵[淡路市]

大地にめぐる兵たちの夢

戦国時代、兵庫には有力な武将が勢力争いをしていました。当時の城の多くは砦のような山城でしたが、播磨から備前一帯を治める赤松氏、但馬の山名氏、姫路周辺の小寺氏、東播磨の別所氏など、彼らは拠点として大規模な城を築き、戦に備えました。しかし小寺氏に仕える黒田官兵衛らの活躍でこの地が平定されると、城は主の権力を示す役割も担います。兵庫に残る多様な城跡には、時代を駆けた兵たちの想いが伝わります。



龍野城[たつの市]



竹田城[朝来市]



明石城[明石市]
写真:東播磨県民局提供



六甲山と阪神間モダニズム

明治時代、六甲山の麓の街では、近代的な暮らしを行う新たな生活様式が育まれました。その背景にあったのが都市交通の発達です。人々は都市部で働き、自然に恵まれた郊外で、暮らしや余暇を楽しみます。この風潮が西洋の香り漂う街を築き、洗練された文化を育みました。歌劇の街として名高い宝塚。「東の帝国・西の甲子園」と讃えられた旧甲子園ホテル。阪神間の街中には、当時の流行を物語る建物が点在します。

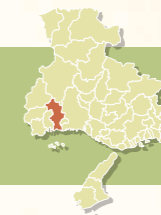


少女歌劇公演
写真:宝塚市立図書館提供



宝塚ルナパーク
写真:宝塚市立図書館提供

赤とんぼの里 龍野



32歳頃の三木露風
写真:霞城館蔵

「播磨の小京都」とよばれる龍野。醤油蔵の煙突・漆喰の白壁・小高い城跡。町はどこか郷愁を誘います。ここで育ったのが童謡詩人・三木露風でした。露風の代表作「赤とんぼ」にある最後の一節は、露風が13歳の時につくった俳句がもととされています。龍野の町並みは、露風の豊かな感性を育ててくれたのです。

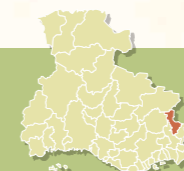


赤とんぼの歌碑[たつの市]



龍野醤油

多田銀銅山



猪名川の山間に天下人・豊臣秀吉ゆかりの鉱山・多田銀銅山があります。大量の銀が秀吉の治世を支えたことから、その坑道は大坂城の台所に例え「台所間歩」と呼ばれました。昭和48年まで採鉱された青木間歩を現在も見ることができます。



青木間歩[猪名川町]



現在の多田銀銅山周辺の町並み

QUIZ クイズ

Q 三木露風作詞・童謡「赤とんぼ」の歌詞「♪夕焼け小焼けの赤とんぼ～」の「赤とんぼ」の部分、当初は違う言葉でした。その言葉とはなんでしょう？

- ① 秋の空 ② 赤からす ③ 山の空

クイズの答えは9ページで

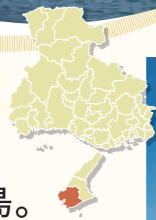


国生み神話 神が抱いた 夢の跡

沼島[南あわじ市]

淡路島の南にある、
オノコロ島伝承の地・沼島。

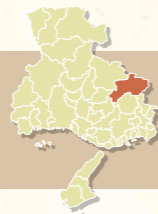
そのシンボルが上立神岩。
海から矛が突き出たような
この大岩は、イザナギノミコトと
イザナミノミコトが出会い
結ばれた場所とされています。



上立神岩[南あわじ市]



夢は人に受け継がれ



篠山藩主の夢は、身分の隔たり無く教育を行うことでした。その夢を实らせたのが、藩校「振徳堂」です。多くの人に行き渡るように版木を彫り作った教科書。学びの場として開放した私邸。今に残る物からは、青山家の並々ならぬ想いが伝わってきます。

青山家の教育に対する信念は、明治時代の私塾「鳳鳴義塾」や、東京における県出身の男子学生寮「尚志館」の創設を経て、現在も受け継がれています。



青山 忠誠
写真:篠山市視聴覚
ライブラリー提供



「振徳堂」で使われた版木と教科書

奇跡の名産を育てる



日本を代表する里山・小代。豊かな自然の中で但馬牛は育てられています。

小代は但馬牛のふるさとです。国内ほとんどの黒毛和牛のルーツとなった田尻号。この牛は小代の里人が育て上げました。夏の小代は今も牛が放牧され、この地の棚田と相まって、のどかな里山の風景をおりなしています。



但馬牛 牧畜風景



田尻松蔵さんとふく江
写真:香美町小代観光協会提供



田尻号
写真:香美町小代観光協会提供

新地域遺産発見!

淡路島で発見された五斗長垣内遺跡は、平成24年に国史跡に指定されました。ここは弥生時代の鍛冶工房の跡です。ムラには大型の工房がたくさんあり、人々はそこで刃物や道具を作りました。



五斗長垣内遺跡[淡路市]



発掘された鉄器

QUIZ クイズ

Q 日本遺産に認定されている丹波篠山独特の唄「デカンショ節」。その「デカンショ」という名前の由来として明らかに間違っているものはどれ?

- 1 デカルト・カント・ショペンハーウエルの頭文字
- 2 「出稼ぎしよう」が変形した
- 3 藩主の書く文字が大きかったら

クイズの答えは9ページで

資料提供:篠山市視聴覚ライブラリー



QUIZ クイズ

P.02 A 1 春と秋

鳴門海峡の渦潮が発生する要因のひとつとして、潮の干満差があります。鳴門海峡では満潮と干潮のときに渦潮が多く発生します。特に春と秋の大潮の時に大きな渦が発生しやすく、渦潮の見頃とも言われます。

※大潮…月と太陽の引力が重なり、満ち潮と引き潮の水位差が大きくなること。



P.04 A 2 辰悦丸

寛政7年に建造されたといわれる、千五百石積み(約230t)・辰悦丸。嘉兵衛はこの船に酒や塩、米などを積んで蝦夷地・函館へと向かったとされています。やがて嘉兵衛は北方の開拓者そして功績者として財を成しました。晩年は故郷・淡路島へ戻り、港や道路の修築などに力を尽くしたそうです。



P.06 A 3 山の空

大正十年、教育児童雑誌で発表された「赤蜻蛉」では「夕焼、小焼の、山の空」と記述されていました。その後、刊行された童謡集で、「山の空」を「あかとんぼ」に改め、現在の歌詞になりました。龍野の町には今も歌碑や生家とその当時の名残をとどめています。



P.08 A 3 由来としての間違いは藩主を書く文字が大きかったから

由来は多く存在します。丹波杜氏の出稼ぎにちなんだ「出稼しよう」から生まれたとの説や、明治中期、関東で学ぶ篠山の鳳鳴高校出身の学生たちが、3人の哲学者「デカルト」「カント」「シュペンハーウエル」の頭文字を唄い広まったという説などがあります。



今回ご紹介した主な地域遺産はここにあります。

- 1 兵庫津(大輪田泊) 兵庫県神戸市兵庫区 (P.03)
- 2 室津港 兵庫県たつの市御津町室津 (P.03)
- 3 出石神社 兵庫県豊岡市出石町宮内99 (P.04)
- 4 平家の落ち武者伝説(御崎地区) 兵庫県美方郡香美町香住区余部 (P.04)
- 5 竹田城 兵庫県朝来市和田山町竹田古城山169 (P.05)
- 6 明石城 兵庫県明石市明石公園1-27 (P.05)
- 7 明延鉾山 兵庫県養父市大屋町明延 (P.02)
- 8 播州織工房館 兵庫県西脇市西脇452-1 (P.06)
- 9 三木露風の生家 兵庫県たつの市龍野町上霞城101-3 (P.06)
- 10 多田銀銅山(悠久の館) 兵庫県川辺郡猪名川町銀山字長家前4-1 (P.06)
- 11 沼島 兵庫県南あわじ市沼島 (P.07)
- 12 青山歴史村 兵庫県篠山市北新町48 (P.07)
- 13 但馬牛のふるさと(田尻号および前田周助碑) 兵庫県美方郡香美町小代区神水739-1 (P.08)
- 14 五斗長垣内遺跡 兵庫県淡路市黒谷1395-3 (P.08)